

## 第4期せきららゼミ（春学期）学生スタッフレポート

### ～ 第4期せきららゼミ（春学期）DAY1 午前の部 ～

今回のレポートでは、関市に興味を持っている学生や将来地域に貢献したい学生が集まって、魅力や課題を見つける「せきららゼミ」について書かせていただきました。

1日目午前の部はちさがご紹介します。

2022年3月10日(木)午前10時から「第4期せきららゼミ(春学期)」が、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴いオンラインで開催されました！今回は10名の学生が参加しました。

### 10:00～ 自己紹介

いよいよせきららゼミスタートです♪！！



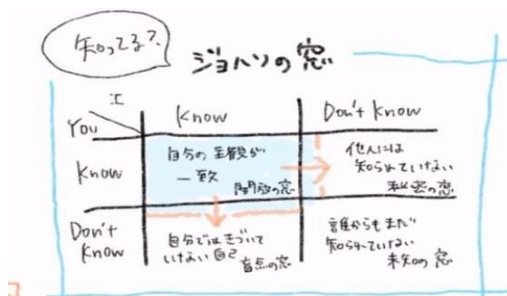
初めてミュートを解除して、1人1人自己紹介をしました。名前、出身、大学を紹介しました。最初はみんな緊張感があって少し顔が固まっている印象でした。私自身、2回目の参加ではありましたが緊張していました。

### 10:25～ 林加奈さんのせきららトーク1

この時間は、地域密着型フリーマガジンの発行や企業 CSV 支援、関市市民活動センターの運営に携わっている NPO 法人せき・まちづくり NPO ぶうめらんの林加奈さんから話を聞きました。

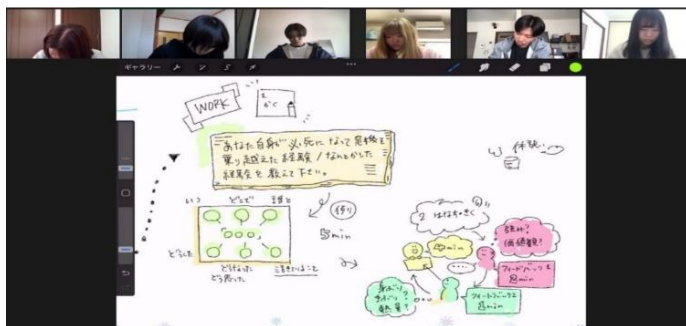
林さんは、自身でフリーマガジンをつくる仕事だけでなく、高校生が自分たちで作るフリーマガジンを通して高校生が企業と出会う機会をつくることなど、市民によるまちづくりに力を入れている方です。「すべての人がまちに関われる」という思いで、お仕事をされています。みんなメモを取りながら真剣にお話を聞いていました。

また、「ジョハリの窓」という自己分析を行う際に使用する心理学モデルも教えていただきました。



すでに自分が知っている自分以外に相手からのフィードバックを受けて、自分がどんな人間なのかを理解していくことで、相手との関わり方を深く考えていくためのものだとなりました。

### 10:35 ~ 自分自身について考える



「まちづくりを考えるためには、まず自分のことを知ることが大切」「自分と他人が自分のことをどこまで知っているのかを理解することで自分のことをよく知っている状態になる」ということから、自分自身について考えました。

『自分が今までに必死になって乗り越えた、危機を乗り越えた、またはなんとかした経験』について、約5分間自分と見つめあいました。参加者は、今までを振り返りながらじっくり考えていました。



## 10:40～ はなす・ぎくのワーク

3人1組でワークをしました。

部屋に分かれてから話す人、しずかに聴く人、しずかに見る人の役割を決めました。

前の時間に考えたことをはなす4分→しずかに聴く人からのフィードバック2分→しずかに見る人からのフィードバック1分のワークを、役割を交代しながら3セット行いました。



話す人に対して「～がよかった」「自分だったらできなかった」「話している表情がよかった」「わかりやすかった」など、自分の良さや相手のいいところを見つけることができた時間でした。

初めはやはり緊張もありましたが、25分間のワークを通して相手の良さや性格などを知ることができ、次第に表情も変わり楽しい雰囲気になりました。個人的には、自分のことを4分話すのは大変だと感じました。

## 11:15～ 林加奈さんのせきららトーク2

この時間では、林さんの今までの活動やどのような経緯で今の仕事に至ったのかについて聞きました。



学生時代に彦根で活動していたことや、新潟の作業場では貢献活動だと思っていたことがひとりよがりだと言われ壁にぶち当たったこと、地元に貢献したいという気持ちが強くなりぶうめらんで働くようになったことなど、今までの経験をお話してくださいました。

私は、「自分の自信が喪失していたときもあったが、地域の方や町の人に出会って自信がもてた」という林さんの言葉に刺激を受けました。参加者全員が、関市に興味を持っている学生なので、とても真剣に聞いている様子でした。

### 11:40～ 午前の部の振り返り

午前中は、関で働いている林さんと交流をしました。最初は顔がこわばっている印象でしたが、最後には笑顔で楽しい雰囲気で終わることが出来ました。新たな気づきを得ることができ、充実した時間になりました。



### ～ 第4期せきららせミ（春学期）DAY1 午後の部 ～

ここからは1日目午後の部について、学生スタッフ ソータ がお伝えします。

#### 14:00～14:05 チェックイン

午後ということもあり、皆さんとても落ち着いた感じでスタートしました。



はじめに自己紹介として、名前、所属、関市や地元の好きなおところ、ゲストの彫哲さんの提案で「好きな YouTuber」について話しました。コムドットやスカイピースなどいろいろな YouTuber の方が出ましたが、東海オンエアが一番多かったです。

#### 14:20～14:50 彫哲さん（シダーズ合同会社）のせきららトーク



彫哲の丹羽さん、杉山さんのお二方の自己紹介から始まり、チェーンソーアートについて、二人が出会ったきっかけ、起業しようとした理由、お二人の仕事に対する思いなど、とても勉強になるいいお話を聞くことができました。また、お二人がとても仲が良いことが伝わり、最高のパートナーだということが分かりました。

#### 15:00～15:30 ブレイクアウトルーム

次に、二つのブレイクアウトルームに分かれて、テーマごとに話しました。



丹羽さんのお部屋では、「今楽しいこと」について話しました。みなさん自分の興味のあること、楽しいことについて話すことにより、お互いのことが良く知れ、より距離が縮まったと思います。また、丹羽さんから学生時代にしておいた方がいいことなどを聞き、学生時代にいろいろなことをやり、楽しもうと思いました。2回目はブレイクアウトルームの部屋を交代しました。



杉山さんの部屋では、「これからやってみたいこと」について話しました。皆さん自分のこれから挑戦してみたいことを熱心に話していました。それぞれ目標ややりたいことがしっかりあり、とてもかっこよく、目標達成のために、いろいろな努力していることが伝わりました。

### 15:30～15:35 チャットで感想共有

チャットでブレイクアウトルームの感想共有を行いました。

「自分が楽しくできる、やりたいことを探すべき」、「普段何気に生活しているが、いつも目を向けていないことに目を向けることで新たな発見があると感じました」など、いろいろな感想や気づきが出てきました。

みんないろいろな経験をしていて、その中で地元が好きだということが伝わってきました。参加者のみんなの今楽しいと思っていることや、今後挑戦したいことを知り、僕もいろんなことに挑戦していきたいと思いました。

### 15:35～16:00 チェックアウト

最後に、午後の部の振り返りをひとことずつ話しました。

また、皆で関市のV字ポーズでの記念写真を撮りました。とてもいい笑顔でした！！



## ～ 第4期せきららゼミ（春学期）DAY2 午前の部 ～

2日目午前の部の内容をお伝えするのは、秋学期に引き続き学生スタッフとして参加させていただきました、末松晃樹（すえまつこうき）です！

春学期も秋学期と同様にオンラインで開催されましたが、今回もゲストの方の貴重なお話を聞けたことを非常にうれしく思います。

### 第4期せきららゼミ（春学期）

#### DAY 2 —自分らしい関市との関わり方—

2022年3月11日（金）  
10:00～12:00

3月11日は、3名の学生が参加していました。午前の部のゲストは、行政書士でLGBTQサポート団体「True Colors」の共同代表をされている福田茉奈さんです。

10:00～

まずは自己紹介からスタートしました。

その後に事務局から関市についての説明、そしてせきららぜミについての説明をしていただきました。



今回のせきららぜミでも、「意図をもって話す」「学ぶために聴く」「自分の影響力に気づく」の3つを意識しながら取り組んでいきます。

10:20～

まずは、福田さんから LGBTQ に関しての説明をしていただきました。

最近よく聞く LGBTQ ですが、あまり身近に感じる方は多くないと思います。

しかし、割合として、日本では 8.9%の方が LGBTQ に当てはまるそうです。

この数字を聞いてピンとこない方もいるかと思います。

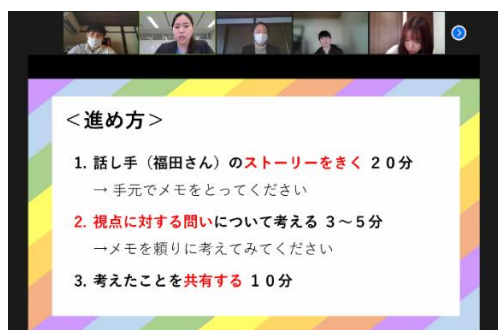
この割合は大体左利きの方の割合と同じだそうです。

これを聞くととても身近だということを感じますね。

10:30～

LGBTQ についての説明のあとは、福田さんの現在までについて説明していただきました。

この際に、ただ普段通りにお話を聞くのではなく、「コレクティブ・ストーリー・ハーベスティング」という手法でお話を聞きました。



コレクティブ・ストーリー・ハーベスティングとは、一人の話を複数人で視点を分けて聴くというものです。今回は、福田さんのお話について、参加者とスタッフが①価値観 ②希望 ③不安、恐れ ④転機、変化 ⑤聴き手の5つの視点に分かれて聴きました。

「不安、恐れ」を例として挙げると、聞こえてくる福田さん自身が不安と感じていたことだけではなく、不安につながった要因などからができました。

11：10～

それぞれの視点から聴いた事の共有では、希望、転機・変化、価値観、聴き手の視点から聴いた方は全員「出会い」に関して触れており、人との出会いというものの重要性が伝わったと感じました。

11：40～

そして、最後には参加者が印象に残ったことなどを共有しました。

参加者のコメントには、「他人と比較せずに自分は自分」や「普通という枠にとらわれない」といったようなものがありました。



福田さんは、参加者の発言を聞いて「視野が広がった。」や「とてもありがたい時間になった。」とおっしゃっていました。

私は、今回も学生スタッフとして参加させていただきましたが、とても有意義な時間にできたと感じています。

特に印象深かったことは、福田さんがおっしゃっていた「一步踏み出して行動を起こせば、助けてくれるひとがいる。」ということです。実際に私が一步踏み出して学生団体の設立をした際にも、せきららゼミの秋学期の参加者であり同級生である子に声を掛けたのが始まりで、5人が団体に所属してくれて現在に至ります。この一步踏み出すきっかけになったのが、せきららゼミでした。なので、これまでに参加された方も、これから参加される方も、せきららゼミが大きなきっかけとなればといいなと願うばかりです。



## ～ 第4期せきららゼミ（春学期）DAY2 午後の部 ～

ここからは2日目午後の部について、学生スタッフ よし が記させていただきます。

### 14:00～14:20 チェックイン

午後の部から参加する学生団体メンバーの自己紹介、午前の部の感想、この時間に期待する事について一人ひとり話をしました。最終日の午後だからか、少し疲れがある様に感じました。

### 14:20～14:25 山田さん自己紹介

昨年末、関市にオープンした古民家あいせきのスタッフである山田大志さんの経歴についてお話を聞きました。20代後半にして、接客業を軸においた様々な仕事を経験されており、参加者の方々も驚いた様子で聞いていました。



### 14:25～14:46 古民家あいせきの紹介・質疑応答

あいせきの利用方法等を紹介して頂きました。あいせきは地域コミュニティの形成を目的に古民家を改修した施設です。個人利用は無料で、貸し切り利用等は申請が必要です。また、館内は飲食自由で、自習、おしゃべり、趣味など様々な用途で利用できるそうです。参加者には利用した事が無い方が多く、興味深そうに聞いており、質問も多く出ていました。

### 14:46～14:47 東日本大震災慰霊のための黙祷

本日は、未曾有の被害をもたらした東日本大震災発生から11年を迎えた日だったので、市役所のアナウンスに合わせて全員で黙祷を行いました。

### 14:47～14:50 古民家あいせきの紹介・質疑応答

質問の中で、交流のきっかけのためにボードゲームを設置して欲しいという意見が印象的でした。何を置くかは検討中であり、参加者の方々から、置いて欲しいボードゲームの案が色々出ていました。案として、オセロ、人生ゲーム、トランプ等が挙げられていました。

#### 14:55～15:05 Relate の活動紹介

学生団体 Relate の代表である末松さんが、Relate の活動目的、活動内容について紹介されました。今後も、関市を中心に活動の幅を広げていきたいそうです。

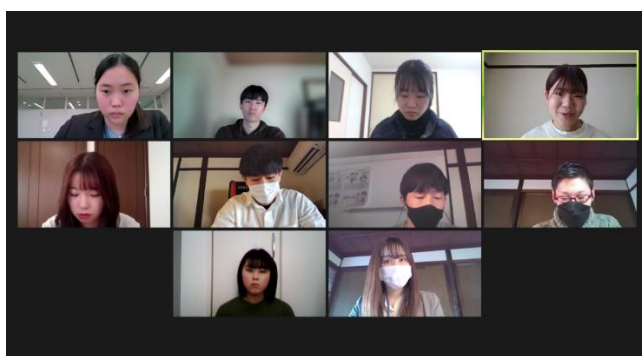


#### 15:05～15:30 山田さん×Relate せきらら対談

あいせきの山田さんと Relate がそれぞれの今後の展望について交流をしました。この交流を通して、**関市を盛り上げていきたい**と言う事が共通しているのではと感じました。

参加者の方から、あいせきで実際に繋がりは生まれているのか、という質問がありました。シャインカービングと言う工芸品を通して、繋がりが生まれた事例があり、今後もそのような繋がりを増やしていきたいそうです。

また、参加者の方々にこれまで一歩踏み出した経験、今後関市へどのように貢献していくかを話して頂きました。参加者の方々の、力のこもった言葉から、とても充実した交流の時間であったのだと感じました。



#### 15:30～15:35 関市役所との関わり方紹介

関市役所の職員の方に、学生でも参加できる関市内の取り組み等を紹介して頂きました。

個人的には、LGBTQ レインボー交流会の取り組みが興味深かったです。近年、LGBT 等の人間の多様性が謳われています。しかし、その多様性とは何であるのか、と言う事が私とし

ては上手く落とし込めていません。この取り組みを通して、その理解に近づくのではないかと、この関わり方に興味が湧きました。

上記以外にも、関市に関わる事ができる活動を紹介して頂き、これらの活動を通して知見が広げられ、今後の自らの活動の指標になるのではと感じました。

#### 15:35～16:00 チェックアウト

参加者全員が、感想と今後の自身の取り組んでいきたい活動について話をしました。様々な人の価値観、関市内の活動に触れる事で、人との繋がり、関市との繋がりをより高めていきたいという意見が多く出ました。今回のせきららゼミで学んだ事を通して、一人ひとりが関市に色々な形で関わり、関市を盛り上げていければと感じました。

